

全医連だより

2019年9月30日号 NO. 21

一般社団法人 全国医師国民健康保険組合連合会

第9回代表者会を開催

第9回代表者会が、9月21日（土）の午後1時から、第57回全体協議会が開かれる岐阜市の都ホテル岐阜長良川「漣の間」で開催された。

出席会員は、台風の影響で飛行機が欠航となったため欠席となった宮崎県を除き、46医師国保組合が出席した。



会議の司会は、全体協議会開催県の野川秀利・岐阜県医師国保組合常務理事が担当した。まず挨拶に立った宮城会長は、全体協議会の開催に当たられた中部ブロックの役職員とりわけ岐阜県の役職員への感謝の言葉を述べ、「本日は、平成30年度の事業報告並びに歳入歳出決算を承認してもらうこと、また2年後の7月末日までを任期とする理事・監事の選任があるので、慎重かつスムーズな審議をお願いしたい」とした。

その後、小林博・岐阜県医師国保組合理事長が議長に選出され、議事を進行した。議長は、46組合が出席しているので会議は成立していると宣言し議事に入った。

【協議事項】

(1) 平成30年度の事業報告について。

豊田理事が説明。

(2) 平成30年度歳入歳出決算について。

豊田理事が説明。

(3) 平成30年度監査報告。

豊田監事が報告。(1)、(2)ともに全員一致で承認した。

(4) 全体協議会の運営について。

議長が『第57回全体協議会開催要領』をもとに説明。

(5) 決議案について。

川出靖彦・岐阜県医師国保組合副理事長が朗読。案どおり承認された。

(6) 一般社団法人全医連役員（理事・監事）の選任について。

理事には、長瀬清・北海道医師国保組合理事長、佐々木悦子・宮城県医師国保組合理事長、太田照男・栃木県医師国保組合理事長、尾崎治夫・東京都医師国保組合理事長、吉沢浩志・新潟県医師国保組合理事長、近藤邦夫・石川県医師国保組合理事長、篠原彰・静岡県医師国保組合理事長、山田晃久・大阪府医師国保組合副理事長、谷澤義弘・兵庫県医師国保組合理事長、平松恵一・広島県医師国保組合理事長、村上傳・愛媛県医師国保組合理事長、福田稔・熊本県医師国保組合理事長、宮城信雄・沖縄県医師国保組合理事長、小玉弘之・日本医師会常任理事が、それぞれ選任された。

また、監事1名（松本純一監事は非改選）には、小野自仙・福島県医師国保組合理事長が選任された。

(7) 次期全体協議会開催地について。

東北北海道ブロックが主催し、秋田県が担当して開催することが承認された。その後、大野忠・秋田県医師国保組合理事長が、第58回全体協議会は、10月16日（金）に秋田市において開催する予定であるとして、多数の参加を求めた。

[報告事項]

(1) 令和元年度第2回理事会の結果について

議長が、標記理事会で行われた選挙結果について（次項参照）報告した。その後、新役員を代表して宮城会長が挨拶を行い、医師国保組合の一致団結を訴えた。